

6年生、残された日々を全力で

全校で集まることが全くできなかったこの一年、最上級生としての活躍の場もことごとく奪われていきました。自分たちにできること、6年生として下級生に示せること、6年間で身につけたものは何なのか、日々の学校生活の中で模索しながらの毎日でした。小学校生活もあとわずか。残された日々の中で、目の前のことを一つずつ頑張る6年生の姿がそこにありました。



各自が考えたことをグループで意見交換

まず本文を読んで自分の考えをもちます

国語の研究授業、自分の考えをもとに友達と交流し学び合う授業スタイルもすっかり定着

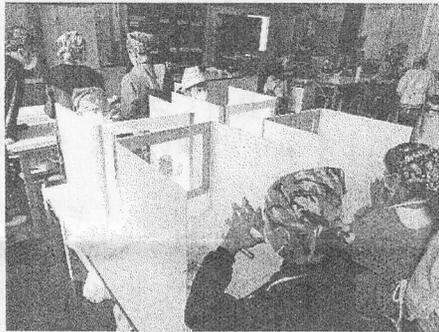


クラス全体で考えを交流し学びを深めます

家庭科の調理実習、班で手際よく分担して作業を進めます。



火傷に注意してジャガイモのゆで加減を確認



試食は用務員の先生手作りのパーティーンで



昼休みに外で思いきり鬼ごっこ。全員遊びもかけがえない思い出に。



先生を追いかけてタッチ！あと何回できるかな…

朝のあいさつ運動に参加できるのもあとわずか、6年生のボランテニアが大勢並んで声をかけ、会釈をしてくれています。

昔あそび、楽しいね！

1年生は、例年なら地域の「昔あそび名人さん」をお願いして昔のあそびを教えていただいているのですが、今年は1/16に子どもたちだけで学習しました。



お手玉、「ほら見て、できたよ！」

お手玉、けん玉、風車、竹馬、竹ぼっくり、紙飛行機、こま、羽根つき、おはじきなど、普段経験したことのない遊びに夢中になった1年生でした。昔の遊びは難しいけれど、コツをつかむとぐんぐん上達します。夢中になって繰り返し遊べる昔あそびは、やっぱり面白い！



竹馬は支えてもらってそろりそろりと



風車、風を切って走れ！